



大久保おおくぼ陽一ようち後援会新聞 Vol.9(2019年4月号)

## 大久保陽一は 北へ南へ全力で 疾走しています



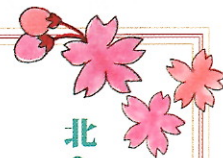
大久保陽一は、  
平日の午前7時から午前8時までの1時間、  
山崎町御名セブンイレブン向かいで  
朝のあいさつをしています。

「宍粟市の教育力を高めるため、元氣溢れる70歳代元教員の活躍の場を」  
「宍粟市立図書館、学習スペースでの学習時間制限(3時間)を見直して欲しい」  
「夢公園、小さな子どもが楽しめる遊具を増やして」  
「小型バス、姫新線新宮駅と接続できないの」  
「健康で、めったに医者にかからない80歳以上の高齢者にも行政施策を」  
「老朽空き家を解体したあとでも小規模宅地の特例が引続き受けられるよう、国に働きかけて」  
「国道29号線沿い、障がい者用トイレが少ないのでは」  
「DVで苦しむ女性が、相談できる場所(行政以外)、逃げ込める場所が必要」  
「医療施設と買い物できる店舗の確保を、宍粟市北部に」

日々の困りごと、教育、市政へのご意見を  
お寄せください！

(「臨時職員さんの待遇改善と雇用の安定」について質問する大久保陽一)

宍粟市議会議員の大久保陽一です。  
みなさまから与えて頂いた議員任期の1460日。  
走り始めて700日が過ぎました。  
「子育て・教育日本」の宍粟をめざし、  
全力「しっそっ」で奮闘します。  
3月議会での質問など活動報告をお届けします。



北へ南へ、全力で疾走します  
大久保陽一

宍粟市の市議会議員として、「市民の声を市政に！」と走り始めて、はや2年。  
みなさまに与えていただいた1460日の折り返し地点に、今、立たせていただいています。  
「子どもが学校から帰宅してから通院できる耳鼻咽喉科が必要。日々の遠距離通院はたいへん、何とかして」とのまわりの声。ついに市民が待ち望んでいた耳鼻咽喉科が、今年9月、イオン山崎店2階にオープンされます。  
病気の児童を一時的に保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援する病児・病後児保育事業も、スタートします。また、高校生世代までの医療費無料化も、いよいよ始まります。  
少子化・人口減対策など、待ったなしの宍粟市。  
多くの市民から「早く始めて」と要望されていた週2回の可燃ごみ収集が、2019年度見送りとなっています。全国のほとんどの市町で当たり前のことが、なぜ宍粟市では実現しないのか。市民とともに考え、市民目線で実現を目指します。市政の主役は私たち市民一人ひとりです。みんなが参加して、みんなで創っていきましょう。  
大久保陽一は、これからの2年間、北へ南へ、走り回ります。  
みなさまの「声」をしっかりと聞かせください。



### 大久保陽一プロフィール

1962年(昭37)4月、山崎町に生まれる。現在56歳。  
龍谷大学経営学部卒業。民間企業に勤めた後、佐用、たつの、宍粟市商工会に勤務、北部支所長で退職。  
2017年4月宍粟市議会議員に初当選。



- 【宍粟市議会での大久保陽一の職務】
- ・総務経済常任委員会に所属
  - ・議会運営委員会委員
  - ・予算決算常任委員会副委員長
  - ・西はりま消防組合議員に選出

大久保陽一後援会にご入会ください。  
ホームページからも入会できます。

オレンジランナー発行責任者  
大久保陽一後援会  
事務所 兵庫県宍粟市山崎町野183番地  
ホームページ 大久保陽一公式ウェブサイト  
<http://www.okubo-y.com>  
Mail [yoichi-okubo@meg.winknet.ne.jp](mailto:yoichi-okubo@meg.winknet.ne.jp)  
TEL 090-9614-6503 FAX 0790-62-5551